

行政視察等報告書（個人用）

令和元年 11 月 7 日

知立市議会議長 様

報 告 者	那須幸子
日 時	令和元年 10 月 30 日(水)・31 日(木)
視察（研修）場所	高知じばさんセンター
研修内容	第 14 回全国市議会議長会研究フォーラム高知
～1 日目～ 10 月 30 日(水) ◇開会式 ◇基調講演 「現代政治のマトリクス-リベラル保守という可能性」 ・基調講演者 - 中島 岳志 氏 [東京工業大学リベルアーツ研究教育院教授] 1 政治のマトリクス ・配分をめぐる軸 - セーフティーネット強化（リスクの社会化）VS 自己責任（リスクの個人化） ・価値をめぐる軸 - リベラル（自由主義）VS パターナル（父権的） 2 ラディカルデモクラシーとポピュリズム ・2017 年 10 月の立憲民主党フィーバー 「立憲民主党はあなたです」とし、支持を集めた。 ・2018 年 8 月以降、支持率急落（12%→8%） - 熱しやすく冷めやすい、自分たちの声が届かない ・2019 年、れいわ新選組フィーバー - 討議デモクラシー * ラディカルデモクラシー（市民が直接政治にかかわる参加型民主主義） ①熟議デモクラシー ・住民直接参加 ・タウンミーティング ②闘技デモクラシー ・政治に対抗線を引く ・明確な言葉、強い言葉、あれは違うと強く迫っていく。 * ポピュリズム ・情緒や感情によって市民を扇動していく	

3 リベラルの逆説

*寛容としてのリベラル

「異なる他者と如何に共生するのか？」という問い

→個人の価値の領域には土足では踏み込まない

4 保守とはなにか

・エドモンド・パーク『フランス革命についての省察』

歴史的原点 フランス革命に対する異議申し立て

・フランス革命に反映された人間観への不信

・真に理知的な人間は、理知の限界を理知的に把握する。

→人間（および人間社会）の完成不可能性

・保守する為の改革

私たちの現在は、膨大な過去の蓄積・知的財産の上に成立している。

時代に応じて、過去から相続した大切なものを守る為の一步一步の

改革・微調整

◇パネルディスカッション

〔コーディネーター〕 坪井ゆづる 氏 朝日新聞論説委員

〔パネリスト〕 高部正男 氏 市町村職員中央研修所長

横田響子 氏 株式会社コラボラボ代表取締役
／お茶の水女子大学客員准教授

古川康造 氏 高松丸亀町商店街振興組合理事長

田鍋 剛 氏 高知市議会議長

テーマ

「議会活性化のための船中八策」

- ・行政監視機能をどうやって高め、成果を上げてゆくか
- ・人口減少、外国人の増加、災害対応など、地域の将来見すえた策論議をすすめるために、必要な視点とは、何か
- ・候補者男女均等法のもとでの実態をどう変えられるのか
- ・規模の小さい議会で深刻化する「なり手不足問題」にどう対処するか
- ・住民の関心を高めるには、何をすべきか。

◎高部 正男 氏

1 市議会についての現状把握

◇自治体議会について指摘される問題点

- ・投票率の低下
- ・無投票当選の増加
- ・議員構成の偏り
- ・政務活動費の不正使用等 議員の不事が大きく取り上げられた。

2 自治体議会をめぐる状況変化

- ・市町村議会議員数の減少
- ・議会活動についての厳格な定義

- ・議会運営についての細部にわたる規制

3 議会基本条例

- ・議会の現状を認識して議員同士が議論の上、条例をまとめることの重要性

4 今後の自治体議会の在り方

- ・議会運営 休日・夜間議会 執行機関の出席
- ・早急に検討すべき事項
 - ・兼職・兼業規制の弾力化
 - ・労働法制の見直し

◎横田 響子 氏

1 議会に必要なこと

- ・20年後の住民は幸せか？
- ・やりっぱなしになっていないか？
- ・若手女性を巻き込んで、街を活性化する対策は？

2 議会改革の具体的なアイデア

- ・中長期視点で街の目指す方向を議論
- ・ガチンコ会議を多様な人材で実施
- ・経験の機会提供

◎古川 康造 氏

1 高松丸亀町まちづくり戦略

- ・土地の所有と利用を分離した市中心部の土地の有効活用
- ・中心市街地での活性化

◎田辺 剛 氏

1 高知市議会の概要

- ・面積 309.00 km²
- ・人口 328,283 人

2 高知市議会議員について

- ・議員定数 34 人（うち女性 5 人） 平均年齢 58.6 歳（33 歳～72 歳）

3 主な議会改革の取り組み

- ・H14. 3 本会議場傍聴席に車いす用リフト・傍聴席を設置
- ・H18.12 傍聴手続きを簡便化した市議会傍聴規則を施行
- ・H26. 4 議会独自の行政評価を開始
- ・他

～2日目～ 10月31日(木)

◇課題討論

〔コーディネーター〕	坪井ゆずる 氏	朝日新聞論説委員
〔事例報告者〕	滝沢 一成 氏	上越市議会議員
	久坂くにえ 氏	鎌倉市議会議員
	小林 雄二 氏	周南市議会議員

◎滝沢 一成 氏

◇上越市議会 市議を目指しやすい環境整備への提言

市議を目指しやすい環境整備検討会の設置

- ・市議を目指しやすい環境とは何か、その整備に向けて

「市議を目指すことを阻害する」現状の要因など把握し、その改革案を策定すること。

・見える議会・魅せる議会は、

・住民協働力　・行政の対峙力　・立法法　・情報収集発信力の揃った議会

◎久坂くにえ 氏

◇女性議員の現状の視点

顕在化した課題

・会議規則

- ・出産が欠席事由として規定されていない
- ・期間の明記もない

・会議の運営

- ・多様なバックグラウンドを抱える議員への配慮はない
- ・行政職員への影響

環境整備にむけて

- ・出産に伴う議会の欠席に関する規定について取得期間及び運用についての考え方を明示
- ・子の看護休暇に関する規定の整備
- ・配偶者出産休暇の取得
- ・議会における仕事と家庭の両立支援のためのインフラ及び議会文化の整備又は改善

◎小林 雄二 氏

◇周南市議会事例報告

平成 16 年 6 月 20 日の出直し選挙後、議会解散の経験を教訓として

「議会改革」に積極的に取り組んでいる。

- ・議会活動への市民参画を促す
- ・市議会に関心をもってもらう

行政監視機能の充実

- ・所管事務調査の積極的な活用
- ・所管事務調査による「指定管理者制度に関する調査」の実施
- ・その他（「100 条委員会の開催」）

議会活性化のための船中八策

- ・行政管理機能の強化
- ・次世代を見据えた前提で、議論を進める
- ・データをきっちり活用
- ・多様性の確保
- ・労働法規の見直し、整備
- ・情報公開の徹底
- ・96 条 1 項、2 項　議会の側面から仕掛ける
- ・議員同士の討論で意見の統一化を図る

★所感（知立市への反映等について）

全国 815 市区から約 2100 名の議員が集った、第 14 回全国市議会議長会
研究フォーラムに初めて参加し、大変勉強になりました。

議会改革や議会活性化策など大きなテーマのもと、議員のなり手不足の解消や
有権者が議会の関心を高める為の対策、若者や女性の政治参加など多角的な議論が行われま
した。

知立市においては、市民の皆様を開かれた議会をめざし、議会改革の一環として、活発に議
会報告会などを開催し、市民の皆様との意見交換会を実施するなど議会改革を推進しており
ます。今回学んだ様々な改革の事例は、現在知立市議会として積極的に推進している改革だ
と思います。

今後も市民のニーズや市民の声、意見を聞き、一人一人の声を真摯に受け止め市民との対話
を大切にし、市民の皆さまが安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいきたいと思いま
す。



※報告書は視察（研修）場所ごとに作成してください。

報告書は視察（研修）終了後 1 週間以内に提出してください。

